

————— 主な内容 —————

- みんなで取り組む課題…………… 2
- お知らせ…………… 3
- 建交労近畿地協定期大会…………… 4
- 女性部秋の宣伝行動…………… 5
- 京都の催事案内…………… 6
- ひろば…………… 7
- 京都高運連京都府交渉…………… 8
- 行楽（谷瀬の吊り橋・潮岬）…………… 9
- 編集後記、まちがいさがしこたえ…………… 10

発行所

全日本建設交運一般労働組合（建交労）  
京都 事業団・高齢者部会

〒601-8103

京都市南区上鳥羽仏現寺町43番地

Tel 075-691-1007 Fax 671-1641

Eメール kenkourou@titan.ocn.ne.jp

発行日 毎月5日 一部30円

No.309 (2021年) 12月号



大原の秋の風景

上林常哲

## みんなで取り組む課題

2021年度の第1回支部執行委員会は11月17日に行い、以下のとおり報告され、取り決めました。役員改選して初めての執行委員会であり、開会にあたって、松永・新委員長の挨拶がありました。

### 1. 京都支部第25回定期大会まとめ 10月23日開催

- 出席状況 役員17人、代議員21人。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、午前半日で実施。
- 議案は全員一致で可決。新役員を選出。
- ▼詳細は前月号『仲間』をご覧ください。

### 2. 京都支部の取り組み報告

- ① 建交労・事業対策委員会 10月26～27日（伊丹）  
▼会議の内容は前月号『仲間』をご覧ください。
- ② 京都高齢者大会実行委員会 11月15日  
○来年の「日本高齢者大会」は京都で開催。
- ③ 宇治分会・労使協議会 10月29日
- ④ 建交労・近畿地協定期総会 11月13日（新大阪）  
▼内容は4ページの記事をご覧ください。
- ⑤ 宣伝行動の取り組み

- 建交労憲法宣伝 10月16日、支部より7人参加。
- 11・3憲法集会 11月3日、円山野外音楽堂。
- 建交労組織拡大宣伝 11月4日、4人参加。
- 府本部女性部「秋の宣伝行動」 11月5日。
- ▼ 5ページに参加者の感想を掲載しています。

### 3. 活動課題

- ① 執行委員の役割分担を取り決めました。
- ② 新年「旗びらき」を1月19日（水）午後開催。
- 例年通りの内容で行う予定です。
- 『仲間』に参加申込を同封します。
- ③ 中村前執行委員長へ退任記念品を贈呈します。
- 定期大会で代議員より提起されたものです。
- ④ 要求アンケートの回収を高めるため、執行委員から周りの組合員に声掛けしていただきます。
- ⑤ 確定申告の税務相談を2月に行います。
- ⑥ 当面の会議や宣伝行動の予定。
- 京都高運連・京都府交渉 11月18日。  
▼ 8ページに要求内容など掲載しています。
- 京都高運連・京都市交渉 12月9日。
- 京都事業団との労使懇談会 12月15日。

### 4. 次回執行委員会の開催予定

第2回執行委員会・12月15日（水）午後2時。

**お知らせ****アンケート活動にご協力下さい**

建交労中央と全国事業団・高齢者部会による  
「全国アンケート」= 12月20日が集約です。

ご記入・ご返送がお済みでない組合員の方は、  
お手数ですが、ぜひご協力をお願いいたします。

国や自治体に高齢者への就労の改善策を求める運動を進めています。そのためのアンケートです。ご協力お願いします。

**「仲間」(1月号) 原稿募集**

新春にふさわしい新鮮で楽しい紙面にとっています。  
皆さんの投稿をお願いします(写真もあればよろしく)。  
投稿される場合は12月21日までをお願いします。

- 《テーマ》
1. 年男、年女のご紹介と抱負
  2. わが家のお正月
  3. お正月の過ごし方
  4. 初夢・こんな夢をみたい、などなど

**2022年 新春旗びらき**

2022年 1月19日(水曜日)午後2時半から4時  
京都高齢者会館4階「ふれあいホール」

催しの内容を検討中。参加申込書を配布します。

# コロナ禍での労働組合のたたかい

## 建交労近畿地協 第23回定期総会ひらかれる

11月13日、大阪・建交労会館で、建交労近畿地方協議会の総会が、近畿6府県から定数26名で招集され、20名の参加で開催されました。

2020年度は、コロナ禍による自粛要請、急激な景気減速などが経営を圧迫するという中で、たたかいとなりました。①雇用調整助成金の延長は、雇用維持の役割は果たしましたが、賃上げまでには至りませんでした。②社会保障制度もコロナ禍で見直しが必要となりました。国保の傷病手当、日々雇用労働者への休業支援金給付。③本年4月から有期雇用労働法が中小企業にも適用されました。正社員と非正規社員との間の不合理な格差が禁止になりました。④コロナ禍で従来の統一行動やメーデー

など、集会やデモなどが制限される中、ツイッターデモ、QRコードを活用した署名やアンケート活動も広がっています。

業種別運動では、トラック部会、IIコロナ感染拡大で、輸送量の減少により経営を圧迫。職場では長時間労働の蔓延、低賃金は改善されないままが続いています。ダンブ部会II国の積算基準(労務単価)は、2012年から9年連続引き上げられているにもかかわらず、ダンブ労働者にはほとんど還元されていません。事業団・高齢者部会は、働いて生活を維持するため、労働局・自治体に、事業団やワークセンターへの育成と仕事の優先発注をもとめて要請をおこなってきました。

2022年度活動方針では、①賃上げと働くルールの確立。②組織強化・拡大。③憲法と平和を守るたたかい、について提案されました。

討論では、各府県から、各部会から業種別の活動について、活発な発言がありました。来年の建交労フェスタIN京都の取り組みについての発言もありました。予算決算報告、役員体制の提案を承認して閉会しました。(松永)

## 建交労の組織拡大 宣伝を行いました

11月4日(木)の早朝、近鉄十条駅で、建交労京都府本部が提起した、労働組合への加入を呼びかける宣伝として、ビラを入れたポケットティッシュを、通勤途上の労働者に配布しました。

支部から4名が参加しました。



# 組織拡大の宣伝と、にぎやかな昼食会

## 建交労京都府本部女性部 秋の宣伝行動

京都高齢者福祉事業団 藤原美佐子

11月5日（金）、四条烏丸近辺で「建交労京都府本部女性部・秋の宣伝行動」を行いました。女性部では年2回、春と秋に宣伝行動を行っているのですが、コロナの影響で、春は中止となったために、久しぶりの



実施となりました。今回の行動には、京都支部からは初めての方も含めて3名、全体では7名の参加がありました。お昼休み

をねらい、それぞれが『ひとりからでも入れる労働組合です』のリーフレットを、ウエットティッシュとともに「建交労です。どうぞお読み下さい。お願いします！」と、元気よく、女性の方を対象に配布しました。

この日はお天気にも恵まれ、用意していたリーフレット300部が、30分たらずでなくなりました。折りたたんであるリーフレットを広げて、お連れの方と何やら話されておられる人も見られ、少し嬉しい気持ちになりました。

コロナ禍の影響もあり、ますます不況が続くなか、悪条件を強いられる派遣社員の方、パート職員の方も少なくないと思います。そんな人たちのために、一人で悩

まず、相談できる場所があることを、多くの方に知ってもらい、何かの機会にお役に果たしたら、少しでも力になれば、と思います。みんな、これからも頑張ってくださいと思います。

年に2回の宣伝行動ですが、なんととっても楽しみなのは、行動後のみんなで食べる、お昼ご飯です。それぞれが感じたことを報告し合い、また職場や家庭、子どもなどの話など、毎回話題が尽きません。全く異なる事業や、また同じ事業所でも一人現場など、なかなか他の人と接する機会がないと思いますが、このような行動を通じて、交流できることも意味があると感じています。これからも地道に続けていきたいと思っています。

次回「春の宣伝行動」は来年3月頃に予定しています。みなさん誘いあって、是非ご参加ください。今後も建交労京都府本部女性部へのご協力をお願いします。



# 京都の催事案内

イベント予定を拾ってみました。  
主催者の都合や新型コロナウイルス対策、  
天候等で 中止の場合があります。

- 12月11日(土) 平安楽市／岡崎公園 (平安神宮前)
- 12月12日(日) 犬猫譲渡会／因幡薬師堂 (平等寺)  
京都縁の会主催。11時～13時。
- 12月13日(月) 大福梅の授与／北野天満宮
- 12月15日(水) 手づくり市／百万遍知恩寺
- 12月18日(土) 土曜マルシェ／JR二条駅西口
- 12月21日(火) さえずり市／上御霊神社
- 12月22日(水) 終い弘法／東寺
- 12月22日(水) 冬至 柚子湯／市内の各銭湯
- 12月23日(木) かぼちゃ供養／矢田寺
- 12月25日(土) 終い天神／北野天満宮
- 12月26日(日) 上賀茂手づくり市／上賀茂神社
- 12月29日(水) 醍醐市／醍醐寺
- 12月31日(金) 大晦日 除夜の鐘／市内各寺  
をけら詣り／八坂神社
- 1月2日(日) ガラクタ市・手づくり市／東寺  
小町手づくり市／随心院  
平安楽市／岡崎公園 (平安神宮前)

- 1月8日(土) 十日ゑびす大祭／恵比須神社
  - 1月15日(土) 手づくり市／因幡薬師堂 (平等寺)  
左義長神事／新熊野神社  
他に「どんど焼」が各神社行われます。
  - 1月16日(日) 無病息災大根炊き／法住寺
  - 1月19日(水) 建交労働京都支部旗びらき／高齢者会館
  - 1月21日(金) 初弘法／東寺
  - 1月22日(土) 京都市古カメラ市／パルスプラザ
  - 1月23日(日) 上賀茂手づくり市／上賀茂神社
  - 1月25日(火) 初天神／北野天満宮
  - 1月28日(金) 初不動／狸谷山不動院
  - 1月29日(土) 醍醐市／醍醐寺
  - 1月30日(日) 一休善哉の日／酬恩庵一休寺
- クリスマスを彩る主な府内のイルミネーション**
- 平安女学院大学「水天一碧」 12月25日まで
  - 京セラ本社イルミネーション 12月25日まで
  - 城陽市鴻ノ巣山運動公園 12月25日まで
  - 亀岡市ききょうの里「夢ナリエ」 12月25日まで
  - JR長岡京駅西口 1月10日まで
  - JR京都駅ビル「光のファンタジー」 3月27日まで
  - 園部るり溪温泉「京都イルミネーション」 通年営業

# ひろば

## 暮らしの知恵袋

### 火災警報器の作動確認をしよう

住宅火災警報器の設置が2006年に義務化されました。消防庁によると全国の設置率は21年6月現在83%。火災警報器が設置されている場合は、死者数と焼損床面積は半減、損害額は約4割減という結果も出ており、火災警報器の効果が証明されました。

ただ、火災警報器が電池切れや故障で作動しなくなっていたのでは意味がありません。電池の寿命は約10年とされています。定期的な作動確認が必要です。警報器に付いている点検ボタンを押すか、点検ひもをひっぱって、警報音が鳴るかどうか確認しましょう。

## 「川柳」

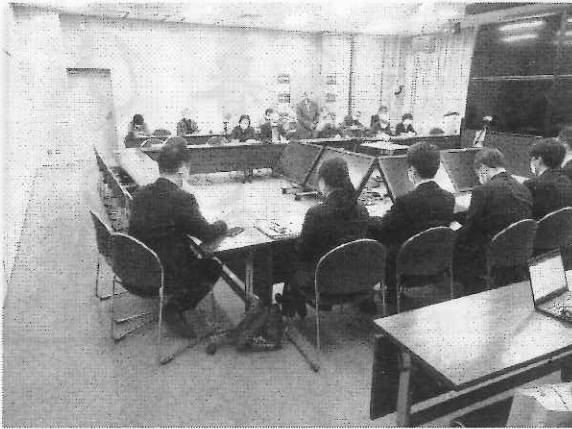
京都高齢者福祉事業団OB 池田東一

出不足の 間に変る 世間の絵  
 張り紙に「コロナに負けた」店を閉ず  
 身体売り「ひととき融資」すぎる女  
 師走風 落葉を路地に 吹き溜める  
 トイレには 今も変わらぬ ヌードの絵  
 毎日と ゆう新聞も 休刊日  
 二十年 かけて川柳 五万句に  
 鴨川の 堰堤除けて 鮎の道  
 投網打ち 遡上の鮎を 捕り調べ  
 昭和期に 我も笑話の 秘話を積む  
 カルピスを 飲めど戻らぬ 初恋の年  
 足のバネ 自肅で弱り よっこらしよ  
 立ち辛い 膝のかわりに 口が立つ  
 今日終える 夕日が比叡 染めて幕  
 藍色に 霞み西山 暮れ泥む  
 お迎えも「まもなくきます」表示有れ  
 どう渡る 三途の川に 橋有るか



12月のまちがいさがし  
 2つの絵で間違いが8カ所  
 あります。

答えは10ページ



京都府庁での交渉

**社会保障情報**

**京都府との要求交渉**

京都高齢期運動連絡会

今年の高齢期運動連絡会の自治体要求懇談会は、京都府に対して11月18日（木）午後3時から、京都府庁職員福利厚生センターの会議室にて行われました。要求内容が多岐にわたっている

ため、京都府庁の関係部局からの職員が十数人ずつ、2回に分けて交渉が行われました。

冒頭、京都高齢者運動連絡会の平井代表委員（京都府職員退職者の会）より、コロナ禍の府民の命と暮らしを、行政職員の専門性を発揮して守ってほしい、と挨拶されました。

主だった交渉内容を記します。

**保健所の統廃合について**

新型コロナウイルス感染症対策で、対応が後手に回ったのは、府内の保健所を12から7カ所に減らしたこと

**補聴器の購入補助について**

障害者手帳を持っている人には、

補聴器の購入支援をしているとの京都府の回答に対し、障害者認定の要件が、両耳80デシベル以上で「まったく聞こえない」状態にならないと支援を受けられず、老人性難聴者などの災害時の情報収集の点からも対象を広げてほしいの要望が改めて出されました。

**府立植物園の整備計画について**

先日行われた「北山エリア整備基本計画」の住民説明会で、京都府の計画に対する反対意見が多数出された事態を受けて、今後の府の対応を聞きました。「内容はともかく説明会を終えたので、今後は強引に進めるわけ？」との質問に対し、京都府の担当者は、まだ計画だけで予算措置をしておらず「何も決まっていません」と述べられました。住民不在で事業を進めても破綻するから一旦撤回したかどうか、と計画見直しを要望しました。

(山川)



# 行楽

奈良を突き抜けてドライブ旅行

## 谷瀬の吊り橋、那智の滝、潮岬灯台

建交労京都支部 中村 崇



谷瀬の吊り橋

先月に続いて今月も「ドライブ旅行」に出かけた。24号線の大久保バイパスから京奈和自動車道を突き抜けて、奈良県五條で国道168号線に入った。道の駅や民俗文化会館を回る予定だったが、ほとんどが「休館」「閉館」の看板が出ていたため、十津川村「谷瀬の吊り橋」へ直行した。ここも観光客が少ないためか、1軒しか開いていない店で昼食・休憩し、橋を渡ろうと入口に立ったが、吊り橋に敷かれた板がブヨブヨと浮いている。「これはやめておけと云っているのだ」と都合よく考え、若者が渡るのを眺めていた。

目的地である川湯温泉「大村屋」に2時間早く到着。ここは山に囲まれ、熊野川の支流になる大塔川に沿って10軒余りの民宿があるだけの小さな温泉場。早速温泉に浸かり、ビールでの乾杯が美味しかった。夕食まで時間があるので散歩をする。河原を歩いていると、ところどころでブツブツと泡が立ち、掘ると熱いお湯が出てくる。川の流れをせき止め、足が入る程度掘り、川の水と混ぜると

程よい熱さに薄まり、にわか仕立ての「足湯」となった。宿に帰ると夕食の支度もできており、食堂には高齢者や工事関係のグループなど20人余りの客で賑やかだった。料理は盛りだくさんで、話好きな女将さんと喋りながらお酒も進み、美味しく頂けた夕食だった。

2日目は、宿で作ってくれた弁当を持って、観光を行った。和歌山県新宮へ出て熊野那智大社、くしもと橋杭岩、樫野崎灯台、トルコ軍艦遭難慰霊碑、潮岬灯台などを1日かけてゆっくりと観光して回った。平日でコロナ禍という時節柄か観光客も車も空いていた。観光客相手の土産物屋などは暇を持って余している風であった。那智の滝は、やはり100メートルを超える落差の飛沫はすごかった。2つの灯台を上ったが、改めて地球は丸いと知り、この灯台の明かりを漁民たちの小舟は頼りにしているのだろうと、その重要性を強く感じた。

3日目は、同じ道では面白くないと、距離は長くなるが、三重周りで海も眺めながら帰ることにした。途中、熊野速玉大社、花の窟神社、紀伊長島の道の駅に寄り、早目の昼食。

土曜日なので家族連れが多かった。伊賀の上野城を見学した後、帰路についた。



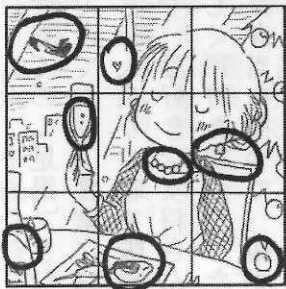
潮岬灯台

## 編 後集 記



今年も「師走」を迎えました。商店街ではクリスマス音楽に切り替わり、年末商戦が始まっています。組合員の皆さんにとって、今年はどうな一年でしたでしょうか。▼  
 新型コロナウイルス感染流行第三波の渦中に2021年が明け、3月下旬から第四波、そして最大の感染者と死者を出した第五波が7月に始まり、9月末まで続きました。今年もコロナ禍に明け暮れる1年で、暮らしも経済も様変わりしました。高齢者へのワクチン接種が4月から始まりましたが、政府や自治体の対応不備が重なり混乱しました。▼  
 コロナ感染拡大のさなかにオンラインピックが挙行されましたが、この国家行事の総括や収支の話は聞こえて来ない。▼  
 2021年の年頭挨拶をした菅首相が在任1年余

で退陣。そして秋の総選挙、野党第一党の立憲民主党の代表も交代になりました。▼  
 筆者の個人的なことでは、今年も縮小ですが、今年も厄年にあたることを正月を過ぎてから気が付き、大津市南郷の立木観音と兵庫県西宮の門戸厄神にもお参りしました。おかげで流行り病に罹らず、再就職にも恵まれたのですが、生活に余裕がないのは相変わらず。▼  
 妙に暑かった秋が過ぎ、急に寒くなりました。早朝から屋外で作業されている組合員の皆さんには、つらい季節がいきなり来た感じになったと思います。発汗と防寒のバランスを服装で上手にとつて、風邪などをひかないよう体調管理をしっかりとって、お過ごしください。い。(や)



まちがいさがしのこたえ